



かごしま有功会

<発行>
鹿児島市鴨池新町
1番5号

鹿児島県
赤十字有功会

(県支部事務局内)
☎099(252)0600

新春のごあいさつ



鹿児島県赤十字有功会

会長 赤塚 典久

(株式会社鹿児島銀行常務取締役)

新年あけましておめでとございます。

有功会員の皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。日頃より、鹿児島県赤十字有功会の運営に格別のご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

昨年は、六月末から七月初旬にかけて県内各地を襲った記録的大雨による災害、八月末の九州北部豪雨、また九月には台風第十五号、十月には台風第十九号などの自然災害が相次ぎ発生し、各地で多くの方々が被災されました。

被災されました方々に心からお見舞い申し上げます。災害時、迅速に行う医療救護活動のみならず、防災セミナーや救急法等講習、青少年赤十字など赤十字事業に対する期待はますます大きくなっています。

しかしながら、一方で、その活動の礎となる活動資金は、近年減少傾向にあり、事業の継続実施が懸念されております。

このような環境下であっても、当赤十字有功会は今年も引き続き、人道と博愛の精神に基づいて「救うことを、つづける」日本赤十字社鹿児島支部を支援してゆく所存でございますので、今後とも会員皆さま方の温かいお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



子どもお仕事体験 天文館わくわくワーク「日赤災害救護体験ブース」での1コマ(令和元年5月)

令和元年度 鹿児島県赤十字有功会総会

令和元年7月23日にホテルウェルビューかごしまにおいて、鹿児島県赤十字有功会総会を開催しました。

赤塚会長による会長あいさつの後、来賓として出席した日本赤十字社鹿児島県支部参与（房村正博鹿児島県くらし保健福祉部次長）から祝辞をいただきました。

協議事項については、すべて全会一致で承認されました。

その後、鹿児島地方気象台台長の多田英夫先生から、「鹿児島の自然災害と防災情報について」と題して、近年の災害の特徴や防災情報の改善状況などについて貴重な記念講演をしていただきました。



会長挨拶(赤塚会長)

役員体制

有功会総会の協議事項「鹿児島県赤十字有功会理事の選出について」の中で新理事が決定されましたので、ご報告します。

- (会 長) 赤塚 典久(法人選出)
 - (副会長) 川畑 俊彦(法人選出)
 - (副会長) 満留 敏弘(鹿児島選出)
 - (副会長) 中村 隆重(大隅選出)
-
- (理 事) 弓場 秋信(鹿児島選出) 新理事
 - (理 事) 坂上 省悟(鹿児島選出) 新理事
 - (理 事) 満留 敏弘(副会長)
 - (理 事) 松元 徹(鹿児島選出)
 - (理 事) 藤岡 義道(南薩選出)
 - (理 事) 宇都 忠良(北薩選出)
 - (理 事) 水間 良信(始良伊佐選出)
 - (理 事) 湯川 久子(始良伊佐選出)
 - (理 事) 中村 隆重(副会長)
 - (理 事) 福永 健一(奄美熊毛選出)
 - (理 事) 赤塚 典久(会長)
 - (理 事) 諏訪 秀治(法人選出)
 - (理 事) 川畑 俊彦(副会長)
 - (理 事) 青木英一郎(法人選出)
 - (理 事) 有馬 正治(法人選出)
 - (監 事) 中山 忠順
 - (監 事) 下窪 昌俊

(敬省略)

懇 親 会

総会後に開催された懇親会は、役員をはじめ、多くの会員の皆様にご参加をいただきました。

懇親会では、最初に、川畑副会長からのご挨拶・乾杯で開会し、中村副会長の締めのご挨拶で盛会のうちに終了することができました。

誠にありがとうございました。

令和2年度も7月に総会を開催する予定ですので、会員の皆様のご参加をお待ちしています。



懇親会の様子

赤十字事業への支援活動

令和元年9月14日、特別養護老人ホーム錦江園に、有功会より多機能車椅子を2台寄贈しました。

車椅子が老朽化で使えない、また、今まで足りなかったことなどから今回の寄贈となりました。利用者の皆様方から大変喜ばれています。



有功会仲間づくり運動!!



赤十字が活動するための会費（活動資金）は、年を追うごとに厳しくなっていますが、活動するための資金募集の中心的な役割を果たしていただいている団体が、鹿児島県赤十字有功会です。

事務局としましては、今後、魅力ある事業を実施するなどして、有功会の活性化を図っていきたく考えています。つきましては、入会いただけそうな方（法人）等又は活動資金にご協力くださる方（法人）等がございましたら、是非、ご紹介いただきますようお願いいたします。

<有功会入会について>

有功会の入会資格となる有功章の受章は、銀色有功章が会費（活動資金・寄付金）の金額20万円以上、金色有功章が50万円以上の金額（いずれも一時又は分割して）に達した方となっております。

なお、日本赤十字社への会費（活動資金・寄付金）に対しては、税制上の優遇措置があります。



<参 考>

国による表彰

- 厚生労働大臣感謝状（個人）一時または累計で100万円以上500万円未満（同一年内）
（法人）一時または累計で300万円以上1,000万円未満（同一年内）
- 紺 綬 褒 章（個人）一時または累計で500万円以上（3年以内）※
（法人）一時または累計で1,000万円以上（3年以内）※

※なお、内閣府賞勲局通知により、分納の初回寄付が平成29年4月1日以降である場合に限り、3年以内という分納期限の制限なく授与申請を行えるようになりました。

厚生労働大臣感謝状伝達式

このたび、赤十字の活動資金に多額のご寄付をされた鹿児島県赤十字有功会理事の弓場秋信様に対する厚生労働大臣感謝状の伝達式が行われました。

誠にありがとうございます。



赤十字の活動資金(会費・寄付金)状況について

近年の活動資金の推移

(単位: 万円)

区 分 \ 年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
一般会費	22,174	20,529	23,817	19,667
法人会費	1,950	1,749	1,903	1,760
合 計	24,125	22,278	25,720	21,428
うち高額寄付	2,200	600	4,700	1,000
高額寄付額除く	21,925	21,678	21,020	20,428
うち有功会員ご寄付	1,504	1,473	2,477	904

※ 高額寄付は、1人(社)での100万円以上ご寄付の総額

※ 有功会員からのご寄付のうち、平成29年度は計1,000万円を超えるご寄付を2名様からいただきました。

直近4年間での活動資金の募集状況(高額のご寄付は除く)は、平成27年度の約2億1千9百万円から年々減少傾向にあり、平成30度は、約2億4百万円でしたので、平成27年度と比較して、4年間で約1千5百万円の減少です。(1年ごとに約6百万円の減少となっています)

この状況が続きますと、日本赤十字社鹿児島県支部の活動が難しくなることが予想されます。

有功会員の皆様の活動資金のご支援が必要です。何卒よろしくお願いいたします。

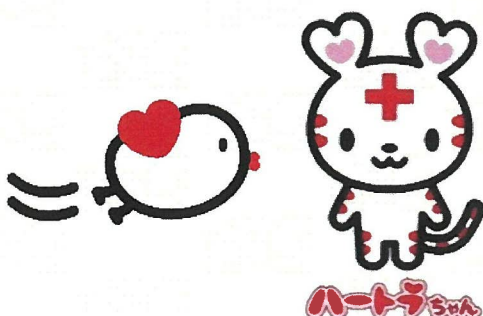
あなたの思いを赤十字に

～遺産の寄付をお考えのみなさまへ～

日本赤十字社を通じて、ご自分の財産や故人の意思を広く社会に役立てていただくことができます。(税制上の優遇措置があります)

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」という尊いご意思にお応えするため、日本赤十字社鹿児島県支部では、ご寄付の方法等を掲載したパンフレットをご用意しておりますので、お気軽にご連絡ください。

詳しくは組織振興課(099-252-0600)までお問い合わせください。



お願い

- ① 寄付型自動販売機の設置
売り上げの一部が赤十字への寄付となります。(設置者さまのご負担は、自動販売機の電気代のみです。管理・売上金の回収・赤十字への振込み等は全て業者が行います。)



- ② 赤十字活動資金募金箱の設置

店舗や社内に設置し、広く多くの方々から寄付を募ることができます。

- ③ 職場での募金活動

職場全体や各部署での声かけにより行われ、職場としての社会貢献活動となります。

身近にできる社会貢献活動となりますので、ぜひご検討くださいますようお願いいたします。